

●エビクエスト
新型の酸化装置
8インチに対応

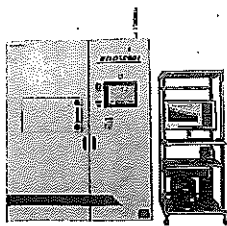
(株)エビクエスト(京都市南区)は、面発光レーザー(VCSEL)の酸化工程向けに、リアルタイムモニター付き8インチ用酸化装置「HIVOX8001」(写真)を開発・製品化した。引き合いを受けて随時

サンプルデモを行っており、国内・海外向け合わせて5台の受注を見込む。VCSELの製造において、酸化工程は歩留まりを左右するきわめて重要な工程で、面内均一性やバッチ間の再現性が非常に重要になる。同社は2018年に6インチ対応装置を発売したが、世界的な8インチ化の流れを受けて新製品を開

発した。

新製品は、同社がMOCVD(有機金属気相成長)装置で培った技術とCFDシミュレーション技術を駆使し、最適化された新開発の高精度8インチ用ヒーターとガスフローの採用により、優れた面内均一性とバッチ間の性能を確保することに成功した。

処理基板サイズは、8インチと6インチは1枚、4インチは3枚。加熱方式は最高加熱温度600℃の抵抗加熱方式で、リアルタイ



ム画像モニター機能を備えた。6インチの使用時にもさらに精密なウエハー温度制御が可能。リアルタイムモニターの搭載により、確実な酸化プロセスの終端検知が実現できる。

同社では、新製品を使用した酸化処理の受託サービスも請け負っている。